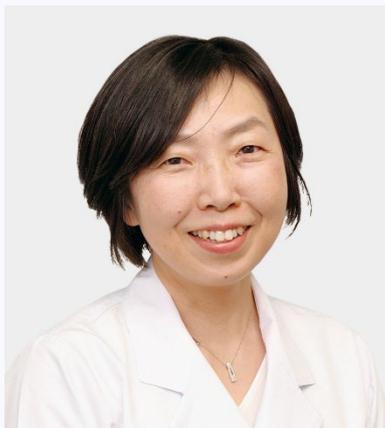




NIHS特別講演会 (殿町#39)

演題

臨床におけるエビデンスの創出



講師

石井 伊都子 先生

千葉大学医学部附属病院薬剤部教授・部長

千葉大学医学部附属病院 副病院長

安全対策調査会委員、医道審議会専門委員（薬剤師分科会薬剤師国家試験事後評価部会）、厚生労働省「バイオ医薬品の使用促進に係る普及啓発事業」普及啓発事業に係る検討会委員

日本薬学会副会頭、日本医療薬学会理事、日本病院薬剤師会理事

ご略歴

1988年4月千葉大学薬学部性科学研究室教務職員・助手、1999年1月NIH、NHLBI博士研究員、2001年4月千葉大学大学院薬学研究院助手（病院薬学）、千葉大学大学院薬学研究院准教授（病院薬学）を経て2012年9月より千葉大学薬学研究院教授（医療薬学）千葉大学医学部附属病院薬剤部教授兼務（現職）

2017年4月より千葉大学医学部附属病院 副病院長
2024年より千葉大学医学部附属病院薬剤部教授

要旨

医薬品の承認にはエビデンスが必要であるが、そのエビデンスとは治療目的に適合した厳選された患者に対してのものである。その医薬品が市場に出ると、さまざまなバックグラウンドの患者に投与される。その際、同様な背景を持つ患者に対してのエビデンスを求めることは困難であり、現場では常にエビデンス欠如の状況で薬物治療が遂行される。

病院薬剤師は薬物治療のマネジメントを生業とし、上記の問題に常に悩まされている。したがって、自分たちで課題を整理し、問題解決をするしかない。今回は、病院薬剤部におけるエビデンスの創出をご紹介します。

日時

2024年11月14日（木）

15:30～17:00

場所：国立医薬品食品衛生研究所 2階 共用会議室

【お問い合わせ先】 国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部

花尻（木倉）瑠理

電話：044-270-6623 メール：kikura@nihs.go.jp